

第十七回和歌山県

民俗芸能祭

入場無料
(全席自由)

【田辺市】

のなか し し まい
野中の獅子舞

近野獅子舞団

【湯浅町】

けんこくじんじゃさんめん し し
顯國神社三面獅子

顯國神社三面保存会

【田辺市】

うえの し し まい
上野の獅子舞

上野の獅子舞保存会

ゲスト団体

(滋賀県選択民俗文化財)

【滋賀県長浜市】

ことぶきしきさんばそう
寿式三番叟

富田人形共遊団



令和6年2.18日

開演：午後1時30分 [開場：午後1時00分]

田辺市・紀南文化会館 小ホール (田辺市新屋敷町1番地)

●お問い合わせ

和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331

主催／和歌山県、(一財)和歌山県文化振興財団

共催／田辺市、田辺市教育委員会

後援／和歌山県教育委員会 協力／和歌山県民俗芸能保存協会

文化力
POWER OF CULTURE

第十七回 和歌山県 民俗芸能祭 出演団体



【田辺市】

の なか し し まい

野中の獅子舞【近野獅子舞団】

近野獅子舞団が保存・伝承する「野中の獅子舞」は、南北朝時代に吉野朝大塔宮護良親王が援兵を募った際、駆けつけた近野の郷土達の士気を鼓舞し、武運長久を祈るためにこの獅子舞が演じられたのが始まりと伝えられ、熊野九十九王子社のひとつである野中地区の「継桜王子社」に連綿として伝えられている獅子舞である。

昭和52年現在の近野獅子舞団として組織、再び活動が活発化する中で、地域に根ざした祭事の保存伝承のため、弛まぬ努力を続けており、昭和46年には、無形民俗文化財として和歌山県から指定を受けている。



【滋賀県長浜市】

ゲスト団体
(滋賀県選択民俗文化財)

ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟【富田人形共遊団】

江戸時代後期、天保6年(1836)ごろ阿波の人形座が借金の代わりに置いていった人形を、地域の青年たちが見様見まねで動かしたのが始まりといわれる。3人遣いの技法で【トンダのデコ】と愛称され今日に至る。戦後、消滅の危機も乗り越え、父子相伝の形で14もの演目を持ち、県内をはじめ、海外でも1995年以降4か国で21回の公演活動を行った。後継者育成のため、ジュニアクラスでの伝承や、海外からの学生を招いてサマープログラムを2003年から開設し、17年間で400人余の経験者がいる。滋賀県文化賞、奨励賞、文化功労賞をはじめ、ポラー賞、サントリー地域文化賞、2023年全国地域伝統芸能賞等を受賞し、郷土の宝的存在である。



【湯浅町】

けんこくじんじゃさんめん し し

顯國神社三面獅子【顯國神社三面保存会】

顯國神社の三面獅子の由来は定かでないが、紀伊国名所図会(嘉永4年(1851))の『湯浅祭礼神輿渡御の図』に三面獅子の姿が描かれ、また、以前は『享保十一年(1726)諏訪大明神』の銘が入った獅子頭を使用していたことなどから、古くから神事として執り行われていたと思われる。

王城とは、熊野街道東側の町場を指し、北王城と南王城はこの界限で祭礼の時に括られていた地域の名称である。しかし、時代の流れによって徐々に伝統神事の継承が困難となり、昭和53年に「顯國神社三面保存会」が発足されるに至った。現在では20名を超える会員の活動により今日まで受け継がれている。



【田辺市】

う え の し し まい

上野の獅子舞【上野の獅子舞保存会】

上野の獅子舞は、田辺市下川下の春日神社に合祀される伏菟野神社に、室町時代から伝承された獅子舞で、現在は毎年11月3日に行われる春日神社の秋祭に奉納されています。

祭礼当日、午前10時から神前式が行われます。社前に参入した一同は、お祓いを受けた後、拝殿で「御神楽」(獅子による巫女舞)を奉納し、次いで社壇下の広場で獅子舞を奉納します。

この地では、獅子舞が単なる神賑わしの行事ではなく、厳粛な神事として、また村人の平安と五穀豊穡を祈願する最大の行事として重要視されてきました。